

さんいく 恭

賛育会後援会事務局・〒130-0012 東京都墨田区太平3-17-8 TEL 03-3622-7614・編集発行者 柴田 光昭

賛育会をお支え下さる皆様へ

賛育会後援会会長 徳 久 俊 彦



皆さま、何時も賛育会をお支え下さり本当に有難うございます。

ご承知のように我が国は超高齢社会を迎え、医療・福祉の世界も様々な対応を迫られております。政府は医療・福祉支出が財政を圧迫することを避けるために、医療報酬・介護報酬の切り下げを図っており、賛育会もまた病院・施設共にその影響を免れることは出来ません。そのため夫々の職場でも、法人事務局でも必死になって工夫・努力を重ね、本年度上期は全体で黒字を確保することが出来ました。これも皆さまのお支えのお蔭と、心より感謝申し上げます。

そのような中で、恒例のチャリティーコンサート第八回を去る一〇月一五日、一一〇〇人を超える方々をお迎えして開催することが出来ました。沢山の方々のご支援を頂いた上、出演された、大谷さん、藤井さん、宇内さんからも、賛育会に対する励ましを頂き、楽しく盛会裡に終えることが出来ました。有難うございました。収益は賛育会病院の建て替え資金とさせていただきます。

賛育会は三年後に百周年を迎えます。これを期に創業の精神「汝の隣人を愛せ」に立ち返り、時代の要請に応えるべく新たな展開を計画しております。また齊藤實氏に委嘱して「百年史」の編纂に取り掛かっており、多くの方々からの「原稿」「資料」の提供をお願いしておりますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

前述のような環境の中で、賛育会病院は地域の皆様が、生まれる前から亡くなるまで夫々の年齢・環境に対応し、生涯に渉る医療・ケアのサービスを提供するために頑張っております。さらに明年二月には町田の清風園に隣接して「清風ヒルズ金井」を開設、特養には入れませんが、自宅では介護生活の困難な方々のための「ホーム」を始めます。診療所や訪問看護ステーションも建物内にあります。関心のおありの方は、同封のリーフレットをご覧ください。小田急線玉川学園駅より車で一〇分程の所です。今年是世界中が「テロ」の脅威に曝される年となりました。明年は少しでも多くの人々が安心して暮らせるようにお祈り致します。

賛育会チャリティーコンサート2015報告

一〇月一五日(木)に第八回「賛育会チャリティーコンサート二〇一五」がすみだトリフォニーホールにて開催され、当日は一一〇〇名を超える来場者で賑わいました。今年でコンサートも八回目を迎え、賛育会病院建て替え支援としては五回目の開催となりました。

今年は、「いつくしみ深き」のパイプオルガン演奏からコンサートが始まり、円熟したヴァイオリニスト大谷康子さんと、フランス音楽の第一人者藤井一興さんのピアノ演奏に観客は魅了されました。宇内千晴さんと内藤真奈さんのパイプオルガンの連弾では、幻想的な音色が会場に響き渡りました。第二部では、大谷康子さんが客席を巡って演奏されるというサプライズな演出に、観客からは盛大な拍手が寄せられ、大成功の内に幕となりました。多くのご賛同を得られたことに感謝を覚えつつ、地域での医療・福祉の働きを広げていけるよう、益金は賛育会病院建て替えのために用いさせていただきます。ご来場いただいた多くの皆様、そして半年にわたり実行委員会でご活躍いただいた委員の皆様にご心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

ご芳志に感謝いたしま
す。二〇一五年八月より
二〇一五年一月まで
に次の団体・個人の方々
よりご芳志をいただき
ました。深く感謝し、お
名前を記します。
(敬称略・順不同)

- 聖アンデレ教会
 (株)ステイトピア錦糸調剤薬局
 (有)アドバンス中部サービス
 本目商事(株)
 菅沼産業(株)営業第一部
 (有)コーヨーメディアカル
 神山 孝 澤地 光子
 飯野 和子 高崎 良子
 久保 純子 森山 薫
 宇内 千晴 西牧 駒蔵
 吉川 敦 塩澤 文夫
 井上 秀子 名島啓太郎
 松原 実 石井嘉一郎
 寺内 和代 齊藤 栄一
 高橋 千明 雨宮 實
 佐藤 昭子 長尾 立子
 斉藤美都子 八島 茂
 鈴木 清 賛育会病院
 大関満江 柴田 光昭
 小畑 照子 鈴木 敬子
 渡辺 信子 橋本 章
 田中 昇次 平野 昭宏
 安藤美智子 中村 和郎
 岩森 毅 清水 和彦
 西山 恒八 藤本 博巳
 川邑 恵子 松井 啓子
 芦川 洋司 菅野 修一
 恩田 芳勇 青本 健作



「チャリティーコンサート2015」より

- 黒川 石崎 寺尾 山本 橋本 岩下 長山 野崎 井出 上柳 柳沼 中島 荻野 二宮 雨宮
 康郎 新
 次郎 朋夫 榮祐 憲男 徹 昭比古 和夫 昭弘 千束 昭治 恵一 誠 照
 池田 青木 小川 谷川 工藤 松井 小高 稲本 来間 洞澤 石井 菅野 大橋 柴沼 森重
 治子 悦子 弘子 知 越江 春代 佑子 政江 茂 幸一 好彦 祐治 明 勝
 本城 安藤 中村 杉本 児玉 武田 濱田 並木 遠藤 内藤 藤井 廣瀬 大竹
 智子 三郎 仁吉 理恵 忠志 清志 信一 仙子 七ツコ 衛 京子 功

あなたのお志が賛育会を育てます 新たな仲間の輪を

賛育会の97年にわたる地域の方々への活動は、多くの有志の方々により支えられて参りました。

本会に寄せられるお志は、本年度は在日外国人医療及び出産前後ハイリスク医療事業、介護保険外の地域高齢者等の生活支援活動、外国人介護従事者等に対する介護の日本語学習支援、更には賛育会病院の建て替え準備のために用いさせていただきます。皆様からのご寄付をよろしくお願ひ申し上げます。

賛育会後援会要項

募集目標(年間)

新規会員 300名
寄付金 900万円
(含むコンサート益金)

維持会費(年間)

- A、5万円 B、3万円
- C、1万円 D、5千円
- E、3千円

賛助会費(年間)

- A、30万円 B、20万円
- C、10万円

その他「クリスマス献金」等口数・金額にかかわらずお受け致しますので、お願い申し上げます。

ご送金方法

本会所定あるいは郵便局備え付けの郵便振替「払込取扱票」に必要事項をご記入の上、ご送金願います。尚、「払込取扱票」は、本紙と併せてお送りいたしますのでご使用ください。

振替口座(郵便局)

00190-7-418054

銀行振込

- 三菱東京UFJ銀行 押上駅前支店 普通預金 3694555
- みずほ銀行 押上支店 普通預金 1511088
- 三井住友銀行 錦糸町支店 普通預金 7087554

口座名義は「賛育会後援会」です。また、現金書留によるご送金や集金のご依頼もお受け致します。機関紙をお送りします

会員の方々には後援会だより「さんいく」及び賛育会機関紙「賛育会ユース」「Saniku通信」をお送りし、事業活動内容についてお知らせいたします。

お問い合わせ

賛育会法人事務局内
賛育会後援会事務局
TEL 03(3622)7614